

飲料配達のバイト  
人妻と・・・・・平  
日の昼下がりラン  
ニング帰りにばつ  
たり マンション  
の廊下で

とある平日の朝、ベッドに寝そべりながらなんとなくディスプレイを触ってい

て思いついた。

・・・・・行ってみようかな・・・。

随分と時間が経（た）ったイメージ。数年前少しの間通っていたがしばらく行

つていなかつた街はずれのカフェ  
へ・・・・。

冬に近づいている午前の空は晴れてい  
る。

散歩日和・・・歩いて向かった。

それほど距離はなく、店内もさほどは変わっていない。

仕事のことなどを頭に巡らせ漫画本を読みながらアイスティーを飲み一時間ほど過ごす。

帰りも晴れた街中をイヤフォンで音楽を聴きながら・・・・。

日差しは強いが少し気流がある・・・・。

そしてカフェの帰り。歩く川沿いの向こう側から女子が一人自転車を持ってこちらに歩いてきた。

ミニスカートを穿いていて太ももが見えている。

仕事のことをなんとなく気にしながら  
晴れた平日の散歩を楽しむ。

通りすぎる際に風に・・・・・。

そのあと川沿い道路の下、川の水面をな  
んとなく見た。河川敷の上。

眺めながら自宅の机に置かれているタブレットが頭に浮かぶ。

次の仕事にL I N E連絡。残っている仕事がたくさんあるので自宅へと足を急いだ。

• • • • • • • • • • • • • • ○

昨日自宅からこの日戻る道とは逆側の・・・いつも買い物で利用しているスーパー前の交差点近くで、

とある繁華街のビルで知り合い以降仲良くしている年上の女性と出会い系話を

した。

「・・・最近デザートショップを始めたの」

夕方の曇り空だった。

・・・・・・彼女は下着ショップ、主婦としての仕事をしながら、もう片手間で和洋折衷のスイーツショップを開くことを計画していた。

「最近どうしてるの？」

知り合ってから半年ほど。久々に会って会話も弾む。

その日の夜は自室で書類を取りに帰りその後仕事関連でホテルに宿泊した。

忙しい毎日だが運動も少し不足していたので、

朝、晴れた空を見てランニングを兼ねて歩いていこうと思い立った。

向かいの歩道から歩いてきた女子とすれ違った後、店などが並ぶ住宅街の方から自宅へ戻ることに。

住宅の間の道を抜けて開けた場所へ出  
ると道沿いにバス停が一つ。

風にTシャツの袖と髪が少しなびく。

カフェへもバスで行ける距離ではあつ  
たが、スポーツのために・・・。

数分前に走ったのでTシャツの背中には汗がついている。

バス停の前を過ぎ、なんとなく気が進んだのでこの日は不動産屋の建物の間を抜けてマンションへ戻ることに。

自宅マンション近く。あと少し……。

時刻は午後になっていた。

マンション近くの民家はゆっくり時間

が流れるようで、

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)